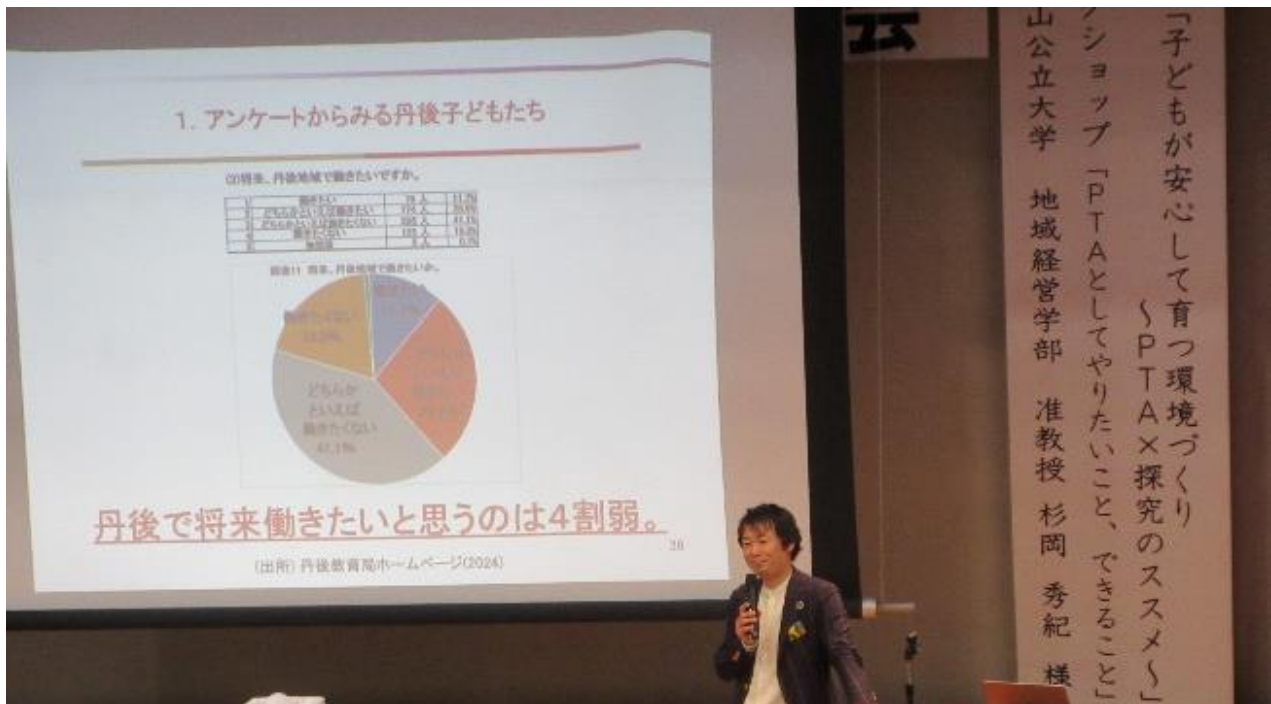


丹後PTA指導者研修会 報告



令和6年6月2日（日）、アグリセンター大宮において丹後教育局管内の幼稚園・こども園・保育所、小・中学校、府立学校のPTA・保護者会役員を対象に「令和6年度丹後PTA指導者研修会」を開催しました。

講師には丹後「子育て」サポート協議会顧問で福知山公立大学地域経営学部准教授の杉岡秀紀様をお迎えし、子どもが安心して育つ環境づくり～PTA×探究のススメ～と題して講演とワークショップを行いました。

杉岡様には、子どもたちの自立に対する意識や将来に対する希望、地域への思い等、丹後「子育て」サポート協議会が実施している丹後の高校生・PTAへの意識調査アンケートの結果も参考にしながら、子どもが安心して育つ環境をつくるために何ができるかについて考える機会をつくっていただきました。また、様々な資料や丹後の高校生の事例を交えながら、これからの子どもたちに必要な環境づくりにおける「探究」の重要性についても力説いただきました。

ワークショップでは、趣旨説明や講演を踏まえて「子育て」や「探究」について『PTAとしてやりたいこと、できること』を単位PTAを中心に協議しました。保護者、先生がPTA・保護者会として大切にしたいことを改めて共有できる有意義な時間となりました。

参加者を中心として、子育てや探究を生かした「子どもが安心して育つ環境づくり」の輪が、さらに広がっていくことを期待しています。



<参加者感想より（一部）>

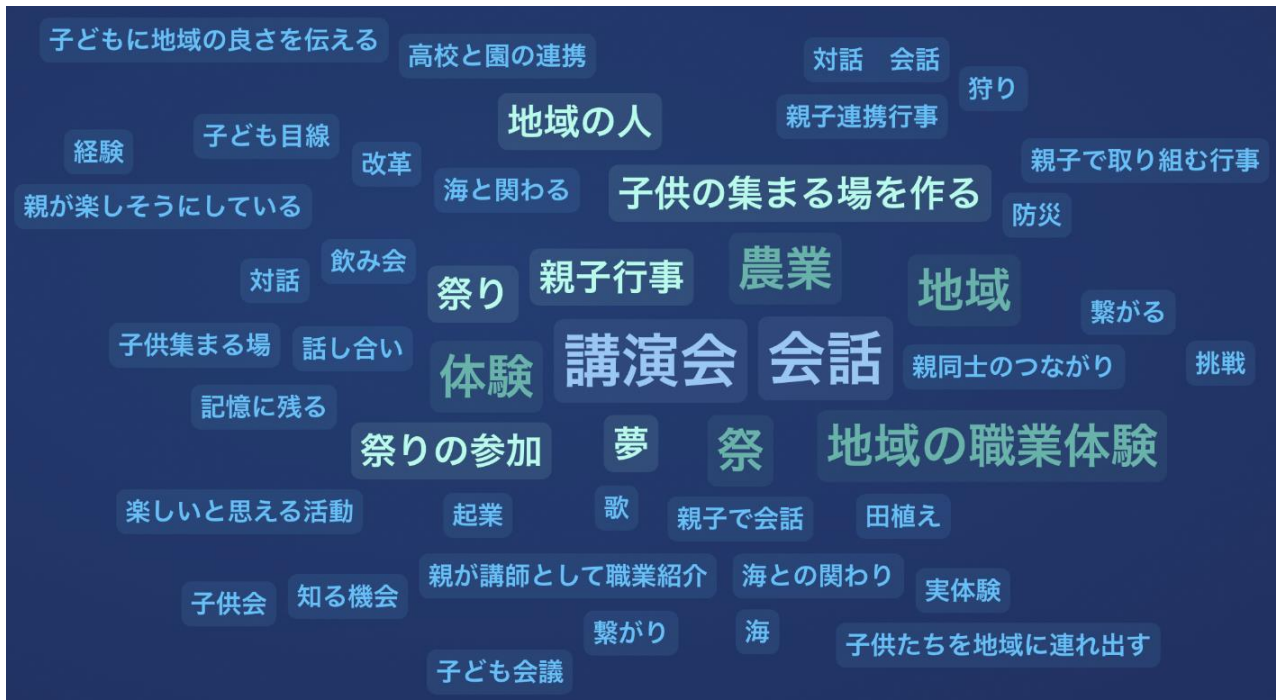
講演

- ・講演もですが、丹後の高校生意識調査アンケート結果も大変興味深いものでした。
- ・圧倒的当事者意識（A T I）という言葉に深く考えさせられました。
- ・勉強と探究の違いを学び、問いを持つことの大切さを学びました。
- ・大人が学び、子どもに発信していくことの重要性を感じました。
- ・子どもと大人との感じ方のギャップを感じました。
- ・P T Aへの関心が強くなりました。今後の活動に生かしていきます。

ワークショップ

- ・「共に一緒に」を大切に取り組んでいきたい。父ちゃん、母ちゃんパワーを子どもたちに見せる機会や大人が楽しむことを大切にしていきたい。
- ・題材も大事ですが、何よりコミュニケーションを取ることが本質で、これがP T A役員、学校、地域との連携になると感じました。
- ・P T A活動を例年通りに進めてしまいがちなので、課題を持ち、P T Aとして何ができるか何がしたいかを、保護者、教員で一緒に考えることができ有意義でした。
- ・P T Aについて、また、子育て、子育ちについて話す機会があり、とても充実した時間となりました。
- ・丹後の魅力について、保護者、教員で共有することができ非常によい機会となりました。
- ・他のP T Aの方の発表を聞くことで考え方が広がりました。

「PTAとしてやってみたいこと、できること」【ワークショップ回答結果】



「PTAとしてやってみたいこと、できること」【グループワーク記述(一部)】

- ・ 仕事や地域のデメリットだけでなく、メリットもこどもたちに伝える。
- ・ 一人ではできないことをPTAとして親が全力で楽しみながらやって、その姿をこどもに見せる。
- ・ 地域の楽しい場所や人とこどもたちをつなげ、体験の機会をつくる。
- ・ こどもに計画させる。(PTA活動や地域の行事など)
- ・ まずは親が探究し、そのことをこどもに発表する。
- ・ 親子の対話の時間をつくり、こどものしたいことに丁寧に向き合う。(すぐに否定しない。親の気持ちを押し付けすぎない。)

＜研修会に関して気付かれたこと＞

- ・ 市町村職員（教育・子育て担当）にも聞いてもらいたい内容だった。
- ・ PTAについては各市町の方針の検討が必要なのかもしれません。
- ・ 大人の主体性を大切にするこゝとでこどもの主体性が大切にされる環境になることを感じる研修会になりました。ありがとうございました。
- ・ 毎年このような機会を継続していただき、学ばさせていただきたいと思いました。また、杉岡先生のお話を聞きたいです。
- ・ PTAとして自覚をもって、こどもたちと関わろうと思いました。